



二気二力

《 校 訓 》 気概 気品 協力 体力

《学校教育目標》

地域に誇りをもち、心豊かに、たくましく、
自分で考え行動する生徒の育成

瀬戸内市立牛窓中学校

令和 6 年度学校通信

第 6 号

令和 7 年 1 月 2 2 日発行

TEL 0869-34-2048

FAX 0869-34-4698

メールアドレス

ushichuu@city.setouchi.lg.jp

学校評価アンケート（保護者）の結果

右のグラフは、年末に保護者の皆様にご協力いただいた外部アンケートの結果です。外部アンケート（生徒、保護者）と自己評価（教職員）の結果を1月14日（火）に学校関係者評価委員会に提出し、本年度の活動を評価していただきました。評価結果を真摯に受け止め、次年度の教育活動に役立て参ります。以下、評価結果の抜粋です。

「生徒一人ひとりの特性に合わせたカリキュラムを導入し、また ICT 機器を活用した授業ができています。」

「各学年で地域学習に取り組みながら、体系的に学べる仕組みができています。」

「家庭学習について、教員・生徒・保護者によって見方に差があると思う。家庭学習については中身の検討も大事だと思うが、夜が遅い子も多いと思うので、時間をうまく使いながらバランスを取ってやるのが、保護者として必要だと思う。」

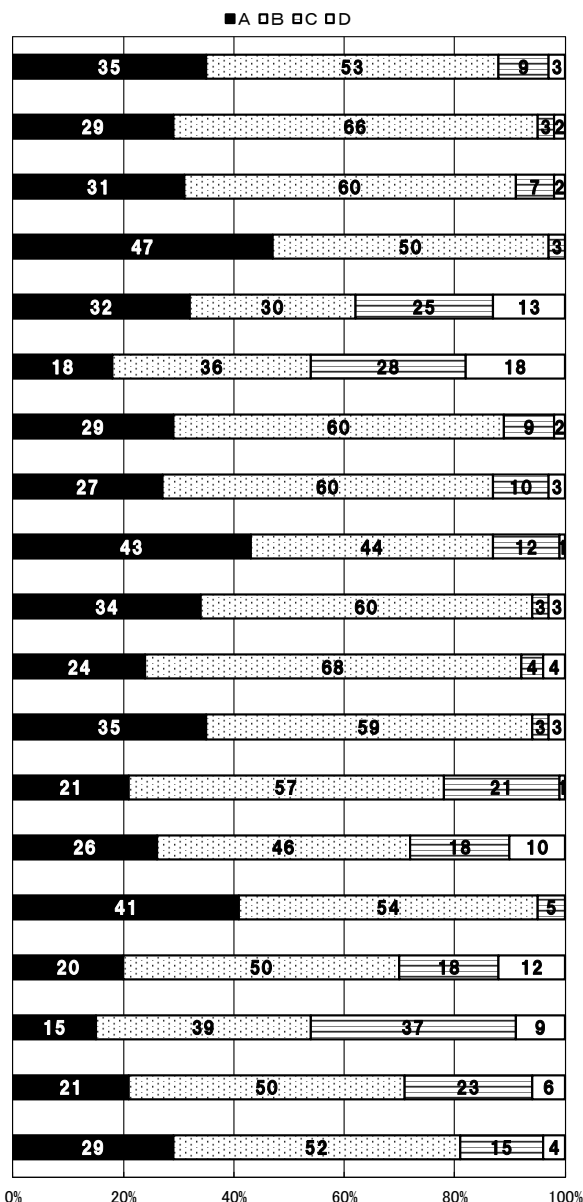
「教員・生徒の充実度はかなりのものだが、保護者は行事の一部しか見えていないのではないかな。発表までの過程も伝わる工夫が必要だと思うわね。」

「学校の相談体制は充実しており、生徒も安心して相談できている。」

「働き方改革や業務改善に向けた取組は、今後も進めていっていただきたい。」

A: 当てはまる B: どちらかといえば当てはまる C: どちらかといえば当てはまらない D: 当てはまらない

学校の指示や説明はわかりやすい
学校は、基礎・基本を丁寧に教えてくれる
学校は、子どもの努力を適切に評価している
授業でICT機器を使っている
子どもは、家庭で平日1時間以上学習している（塾を含む）
子どもは、将来の夢や目標をもっている
学校は、子どものよいところを認めてくれる
学校（教員、カウンセラー）は、子どもの悩みごとの相談に乗ってくれる
学校は、適切な言葉遣いやあいさつの励行を指導している
学校は、子どもにきまりやマナーを守って生活するよう指導している
学校は、いじめ防止など、人権について指導している
学校は、社会に参画する意識を高める指導を行っている
子どもは、失敗や嫌なことがあっても、気持ちを切り替えられる
子どもは、早寝、早起き、朝ご飯を心がけている
学校は、安全（防災、交通、感染症、熱中症など）について指導している
ネットやSNSの使い方を家庭で決めている
委員会活動や部活動が活発な学校である
体育会や咲陽祭などの学校行事が充実している
牛窓中学校は、子どもを通わせたいと思える学校である



0% 20% 40% 60% 80% 100%

3 年生「The Ushimado 未来図」発表会

本校では、地域を学習素材として3学年を貫く課題解決型学習 PBL (Project Based Learning) に取り組むことで、コミュニケーション能力の育成と社会参画意識の向上を図っています。本紙表題の「歴史に学び、今を知り、未来を創る」とは、主に1年生が「歴史に学び」、2年生が「今を知り」、3年生が「未来を創る」学習に取り組むことを表しています。3年生は、地域の課題に真摯に向き合う市職員の方々とワークショップを行い、その熱量に触発されて、自分たちなりの地域創生案を考えました。その提案会を、12月23日(月)に中学校と市役所をオンラインで結んで行いました。視聴者からは「提案は新鮮だが、財源がないので、すぐには実現できない」「誰かがしてくれると考えるのではなく、自分に何ができるのかという視点が大切」「発表では、情報源を明確にすることが大切」など、温かいお言葉をいただき感謝しています。進学先でさらに踏み込んだ PBL に取り組み、今回のお言葉を胸に、自ら行動を起こす生徒、卒業後も学び続ける生徒に育つことを願っています。



3 年生「租税教室」

1月14日(火)、3年生の社会科の授業に近成彰彦 税理士を招いて、租税教室を開催しました。冒頭、税金の意義を「自分一人で生活するよりも、みんなが使うものは、みんなから集めたほうが、よりよいものができる」(公共)と解説してくださいました。続いて、学習班に分かれて「X、Y、Zさんが住むA市と、駅、デパート、病院のあるB市の間に架ける橋の建設費」について話し合いました。さすが PBL に取り組んできた3年生だけあって、次々と案(均等割、通行料金、収入や支出に応じて徴収、対象地域の拡大など)が出てきて、感心しました。最後に税理士さんが「国債発行も考えられるが、使用者と返済者の間に時差が生じてしまう」「税金は約50種類もあり、不満を軽減するために組み合わせることもできる」と、まとめられました。18歳で選挙権をもつ中学生の皆さんには、税という視点を通して、その使い道を決める政治にも関心を広げて欲しいと思います。

校則見直し

旧生徒会中央委員が校則見直しを公約に掲げ、1学期に実証実験とアンケートを行い、2学期に臨時生徒総会を招集して、最終的に学校を動かしました。見直した内容は、①体操服及び部活動着を着用しての下校、②防寒着の下衣を着用しての登下校、③白、黒、紺、グレーを基調とした運動靴です。年末に保護者の皆様からも端末でご意見を頂戴しましたが、概ね好意的でした。①、②については、冬季は日の入りが早く、部活動の時間が短くなることや、厳寒期であることを考慮して、早速2学期末から運用を開始しました。③については、3学期から運用を開始しています。このように学生時代に、民主主義の根幹である対話による合意形成を体験することは意義深いと考えます。

人権講演会

11月25日(月)に盲導犬とユーザーさんを招いて、人権講演会を開催しました。今回のように外出できることについて、ユーザーさんは「盲導犬が自分と社会をつないでくれている」と、感謝されていました。盲導犬は県内に13頭しかいないので、その一挙手一投足に視線が注がれました。幼少期をパピーウォーカーと過ごし、その後は施設で盲導犬になるための訓練を受けているので、吠えることはなく、ユーザーさんの指示がない限り、柔和な表情でフロアに座っていました。一見休憩しているようですが、盲導犬プレートとハーネスを装着していれば、静かに座っていても勤務中なのです。愛くるしいので、思わず撫でたり、餌を与えたりしそうですが、集中力が落ちるのでしてはいけないそうです(静かな無視)。ユーザーさんは道に迷ったとき、盲導犬の温もりから勇気と元気をもらえるそうです。そうした場面に遭遇したら、「何かお手伝いしましょうか」と言葉かけのできる人でありたいと思います。



受験生を応援する食育

12月13日(金)の昼食時に、小坂幸子 栄養教諭が受験生を応援する食育指導を行いました。朝食は脳の血流を上げ、目覚ましになります。欠食すると、次の食後に急激に血糖値が上がるため、逆に無理に下げようとして体に負荷がかかります。血糖値の乱高下を緩やかにする観点から、塾やスポーツクラブ前の補食は菓子パンよりおにぎり、夜食はラーメンよりうどんがお勧めです。脳の働きを高め、記憶力をアップするには、青魚、卵、豆製品がお勧めです。育ち盛りの中学生に、安全で美味しい給食を提供してくださる小坂先生には、生徒を代表して保健委員から感謝状が贈られました。

なお、給食委員会では、1月14日(火)～1月17日(金)に独自の給食週間を設けて残量調査「毎日もってえねえ day」を実施したり、学習班で旬の食材を用いた献立を考えて栄養教諭に審査してもらうコンテストを開催したりしました。